

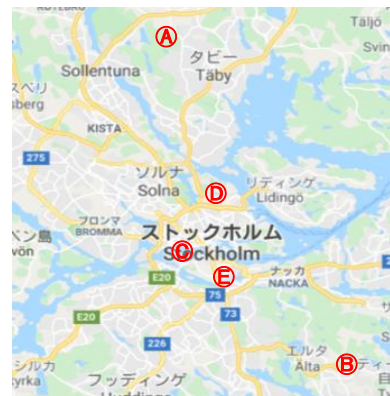
# デンマーク・スウェーデン海外研修旅 第2部スウェーデン編

研修実施期間：令和元年6月9日(日)～17日(月)

(ひまわり 梶沼 知徳)

法人いずみ職員から希望者を募り、総勢9人でデンマークとスウェーデンへ研修旅行。ニューズレター前号ではデンマーク編をお伝えしました。今回はその続編です。

スウェーデンの人口1,023万人、日本の1/12、国土は日本の約1.2倍、消費税12%～25%、所得税平均32～57%。合わせて44%～82%。ストックホルムを中心に5ヶ所の事業所やグループ住宅、個人宅を訪問。帰国前日の土曜日には王宮やノーベル博物館や森の教会墓地（世界遺産）の見学などをしました。



ストックホルム近郊地図  
①～⑤は見学順 google より

## 1. タンブリネン特別保育園 6月13日(木) (タビー市) 地図 ①

7歳までの障害児を対象とした保育園。朝の会から見学。7:30～16:30開所、日本と違い朝食も提供。スイッチ類やスヌーズレン、(写真)など機器類が充実。教材を含む機器類はセンターからレンタル可能その際人も派遣可能。15歳まで利用可能な短期入所も併設。自宅から施設への移動はタクシー利用。タクシー内で発作の対応は、保護者が事前に運転手に薬を渡して対応。発作対応が大変な場合を除いてアシスタントは付かない。



## 2. カフェ・カタリーナフセット 6月14日(金) (ストックホルム市) 地図 ③

自閉症、ダウン症、知的障害者、精神障害者25名が働くランチ専用のレストラン。職員数は12名、9時から15時まで勤務。カフェ、公園内植栽の手入れ、洗濯など(別施設)の仕事をしている。



利用者の気分転換で園芸作業も行う。



野菜とチーズのパイのランチセット  
90スウェーデンクローネ(約1,260円)



### 3. インディヴィドクラフト作業所 6月14日(金) (ストックホルム市) 地図 ㊦



インディヴィドクラフトとは「個人の力」の意。自閉症や軽度の知的、精神障害者の日中活動施設。19歳～65歳、登録は90名、日々10～20名が利用。利用の方法は週1回3時間の利用券、最大5回、15時間まで利用可能。音楽活動、手芸、IT関係、ヨガ、運動等、各部屋はまるでオフィスの様な印象。施設内に眺めのいいテラス部屋もあり適宜休憩ができる。

近所にあるブティック・ギャラリー（作品販売・絵画販売）や音楽スタジオも見学。

### 4. 中途障害者カロリーナさん宅 6月13日(木) (トレイソー市) 地図 ㊧

### 5. トューレスタ・グループ住宅 6月14日(金) (ストックホルム市) 地図 ㊨

#### 帰国後～ 各参加者からの感想の一部

甲職員 デンマークではちょうど選挙。高投票率（84.5%）で皆が良い国を作ろうとする気概が感じられました。帰国後仕事で取入れたいところは整理整頓、道具、素材を利用者が準備、片付ける事でより参加しやすくなる。絵記号を使用して自分の気持ちを伝える工夫。個人にあわせた支援と休憩（一人になれる）できるスペース。少しでも個を大切にす支援を心掛けたい。

乙職員 障害児放課後活動職員に「保護者からの要望で一番多いのは？」に「子どもに社会性を身に付けて、将来をより良いものにさせたい」と、保証が行き届き保護者も余裕があるのだなと感じました。どの見学先でもしっかりとした理念に基づき働かれていて、日頃どれほど真剣に仕事に向き合い、努力と工夫を重ねているか？と強く問われた研修旅行でした。

丙職員 子どものころから自分で選ぶ機会がしっかり設けている。生活の仕方や施設での活動などの選択肢に幅がある。そのための人員配置もされているように感じた。

丁職員 上半身は箱の中、声に反応するぬいぐるみがあり、声を出して返事が返ってくると体全体で喜んでいました。帰国後段ボールを利用して音楽や光を付けて利用者に楽しんで頂いています。応用できそうな装置は参考にしていきたいと思ひます。



インディヴィドクラフト作業所のブティック前、施設職員と研修参加者9名と現地通訳者